



議会だより



▲決算書

市の家計簿をチェック



南あわじ市議会で、昨年度の決算総額約455億円（一般会計・特別会計・企業会計支出分の合計）の収支状況を審査しました。

（写真：手前が議員、奥が市の執行部。9月8日、決算審査特別委員会にて）

主な内容

9月定例会、31議案を審査	P 2～8
20年度決算を審査	P 6～8
委員会調査の報告	P 10～15

議決結果

提案	議案の内容	議決結果	討論
市長	20年度一般会計・特別会計・企業会計決算の認定(21件)	認定	反対：蛭子智彦議員 一般会計、国民健康保険特別会計、後期高齢者医療特別会計について
市長	21年度南あわじ市一般会計補正予算(内容は4頁に記載)	可決	反対：蛭子智彦議員
市長	南あわじ市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定(内容は5頁に掲載)	可決	
市長	21年度老人保健特別会計補正予算(前年度の繰越金を、国・県・市へ返納)	可決	
市長	21年度介護保険特別会計補正予算(前年度の繰越金を基金積立に。また国・県に返納)	可決	
市長	21年度下水道事業会計補正予算(内容は5頁に掲載)	可決	
議員	刑事訴訟法の改正を求める請願	採択	
議員	” 意見書(下記掲載)	可決	
市長	市有地の無償貸付(内容は5頁掲載)	可決	
市長	広田財産区管理会委員の選任	同意	
市長	洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員の選任	同意	



▲9月定例会風景

9月定例会の報告
31議案を審査

第27回南あわじ市議会定例会を、8月27日～9月18日まで開催しました。全議案31件のうち21件は前年度の一般会計や特別会計等の決算の認定で、決算審査特別委員会を設置して、2日間にわたって集中審査しました。

また、市長が1億4371万円の一般会計補正予算などを上程。全議案は、採決の結果、可決されました。

このほか、一般質問や、各委員会が1年間の調査結果を報告しました。

議会へ報告

市や、市の出資法人等の経営状況及び健全化判断比率などが報告されました。

内容	報告者
財政健全化判断比率及び資金不足比率の報告	市長
教育に関する事務執行状況の点検及び評価の報告書	教育委員長
出資法人の経営状況報告	南淡路農業公園(株) 財南あわじ産業振興協会 財南淡路風力エネルギー開発 淡路島土地開発公社 財南あわじ市健康福祉協会
例月出納検査(5月末～7月末分)	監査委員

議会の同意

次の方々の選任を同意しました。(敬称略)

- 広田財産区管理会委員
蔭山公賢、畠田幹生、岡田秋廣、岡田憲明、山崎元和、武田至弘、原田敏彦
- 洲本市・南あわじ市山林事務組合議会議員
蔭山公賢、畠田幹生、岡田秋廣、岡田憲明、山崎元和、武田至弘、原田敏彦

議員提出の議案

「録画・録音による刑事事件の取り調べの全過程の可視化を」

刑事訴訟法の改正を求める意見書

■提案者

総務常任委員長
木曾弘美

■意見書提出先

衆・参議院議長
内閣総理大臣
内閣官房長官
総務大臣、法務大臣

■要旨

本年5月から裁判員制度が導入された。

裁判員となった国民が判断に迷うことが懸念されており、実際の裁判で争点となることも多い供述調書の任意性等について、捜査機関の取り調べのあり方の見直しを求められている。

警察、警察庁は取り調べの一部録画を試行し、警察庁は取り調べ状況を監督する部門の創設など、取り調べの適正化に向けた一定の対策を打ち出したところである。

しかし、適正な取り調べをより一層確保する必要があることと、可視化についての議論が行われている現状に鑑み、取り調べのあり方を根本的に見直すことが必要です。よって、国においては、録画・録音による刑事事件の取り調べの全過程の可視化などを内容とする刑事訴訟法の改正を早急に行われるよう、要望する。



▲テレビの中継局が立つ大見山（阿万）

■内容 地上デジタル放送の中継局設置のため、民放4社へ市有地（阿万・大見山の610㎡）の無償貸付。

財産の無償貸付

問 市有財産貸付で使用する料を徴収しているものとの整合性は。

答 本件は、既存のアナログアンテナにデジタルアンテナを取り付けるもの。このアンテナは昭和60年に旧南淡町が民放4社へテレビジョン難視聴地域解消のための中継所建設を要望し、経費の一部を負担して設置されたもの。建設用地は無償貸付し現在に至っており、当時の考え方を継承して無償で貸付けする。



▲下水道処理施設（福良浄化センター）

問 警察庁、検察庁の取り調べの一部録画試行の現状は。

答 重大な事件の取り調べの一部について、

■内容 3頁参照。請願書の提出者「兵庫県弁護士会」の会員に出席を求め、審査を行いました。

請願書「刑事訴訟法の改正を求める件」

■内容 関係法令の一部改正に伴い、平成21年10月から23年3月までの間、出産育児一時金を現行の38万円から42万円に引き上げる。

★文教厚生常任委員会の一部を改正する条例

★文教厚生常任委員会

問 テレビで見えるような厳しい取調べが現実に行われているのか。

答 担当者の思い込みや職務熱心のあまり若干行き過ぎた取り調べになることがあると思われる。

問 起訴直前に1回録画面を行っており、自白の部分は録画していないので弁護士会としては録画の意味がないと思っている。

問 テレビで見えるような厳しい取調べが現実に行われているのか。

答 担当者の思い込みや職務熱心のあまり若干行き過ぎた取り調べになることがあると思われる。

問 出産育児一時金の

■内容 減価償却費2億2350万円などを追加補正。

★産業建設常任委員会

21年度下水道事業会計補正予算

問 減価償却は通常は年度当初に確定しているのではないか。

答 今年度から企業会計に移行するため減価償却の調査を実施し、当初予算に計上したが、3月末に最終チェックを行ったところ計上漏れ等が見つかったため、今回補正する。

問 前年度の支払状況は。当初予算編成における想定出産人数は。

答 前年度4月～8月分では35人で1225万円の支出。出産人数については、90人を想定して当初予算を計上している。

委員会での議案を審査

▲委員会審査風景（9月15日、文教厚生常任委員会）



議案の審査のため、3つの常任委員会（総務・文教厚生・産業建設）と決算審査特別委員会を開き、審査しました。

審査の結果、すべての議案について、可決するものと決しました。質疑の内容を抜粋して紹介します。

★総務常任委員会

21年度一般会計補正予算

■内容 5月可決の国の補正予算に係る子育て応援特別手当、離職者に対する住宅手当等に伴う必要経費の追加。またバイオマス利活用施設の維持管理経費の追加など、歳入歳出それぞれ1億4371万円を追加。一般会計総額が248億5594万円に。

■政権交代の影響は？

問 政権が変わり国の補正予算の執行停止などが話題になっている。国の補正予算に係る部分はありますか。

答 46の基金事業の凍結が主に言われており、安心子ども基金、緊急雇用創出事業補助金、

海岸漂着物地域対策推進事業補助金が基金事業に係ると把握している。執行停止は、今後の国政の動向によらざるを得ない。

■旅行者満足度調査に95万円

問 内容は。

答 市の観光協会に委託し、観光客に満足度や希望することを調査し、リピーターの増大を図り、また観光施設へ結果をフィードバックする。

■バイオマス利活用処理施設に970万円追加

問 内容は。

答 フォークリフトの点検、ダイオキシンの分析、各種施設点検、機器の修理。

問 1トンあたり1万5千円での稼動が何年可能か。

答 設備の耐用年数は5年～8年。ただし、燃料価格が高騰すると1万5千円で処理するのが難しくなる。

▲バイオマス利活用処理センター（北阿万）

★決算審査特別委員会

決算の認定

一般会計決算

■ 税収の状況は？

問 市民税に係る所得は。
答 19年度と比較して総所得12億651万円

減の534億4580万円。給与所得、事業所得で落ち込んだが、農業所得で伸びている。
■ 定額給付金の給付状況は？
問 定額給付金の給付状況、問題等は。
答 8月末の給付状況は98.7%、残り241世帯、現金給付の世帯は94.9%、口座振替は3.8%。
自治会、防犯協会、

民生委員、警察、金融機関の協力があり、スムーズに給付できた。
地域振興券3億6千万円分の販売も完了し、地域の活性化に貢献できた。
■ 「田舎暮らし」のPR
問 移住・交流受入システム調査委託料の成果とその評価は。
答 NPO法人の交流・移住に向けた田舎の家屋状況のホームページ

を開設。それに伴うパソコンの借上げ、人件費、会議費及び調査費であり、3、4件の移住したい等の問合せがあると聞いている。
■ ケーブルテレビの減免制度
問 ケーブルテレビの特別減免は、何世帯分か。また、障害者等へ減免制度の周知を。
答 5619件の減免で、ほとんどが緑・南

淡地域における期限までの接続申込みに係る政策減免。
また、障害者への減免制度については広報誌等で周知を図る。
■ 資源ゴミの活用
問 資源ゴミの収集と売却収入額は。
答 20年度は資源ゴミの引き取り価格が良かったので、5500万円の売却収入があった。
問 本年10月から粗大ゴミの有料化される。内容は。リサイクルは。
答 粗大ゴミの持込は10kg当たり150円。リサイクルは継続し、修繕で再利用できるものは、要望を聞いて、フリーマーケットも考える。

Table with 2 columns: Position (委員長, 副委員長) and Name (木曾弘美, 出田裕重, etc.)



▲移住PRのためのホームページを開設 (http://inaka-mankitu.com/)



▲中央リサイクルセンターで資源ゴミを集積 (複列上幅多)

■ 本庄川ダム管理
問 本庄川ダム管理費で、巡回監視

業務の内容、湖面清掃及び堆砂測量の内容は。また、堆砂はどうするのか。

問 漏水調査を含め巡回監視は目視で週3回。湖面清掃は地元業者に依頼。堆砂測量は深さを測り、前年度のデータと比較する。危機管理上、毎年必要な経費である。堆砂はまだ余裕がある。

■ 淡路玉葱のPR

問 玉葱の販売促進に係る補助金は。
答 産地競争力強化総合対策事業補助金で、コマシヤール、作業カレンダー等がある。

■ イングランドの丘

問 南淡路農業公園(株)の消耗品の内容は。
答 PR特産品の購入。



▲補助金で作成した淡路玉葱のPRのミニのぼりとラベル付きネット



▲イングランドの丘で牛乳を無料配布し、特産品をPR

内訳はさんちゃん市の野菜と牛乳製品。牛乳の提供は春、夏、秋に行っている。
■ 観光協会の統合
問 観光連盟、観光協会負担金につき、淡路島内一本化は。
答 淡路県民局が窓口となり、淡路島観光圏で検討している。

■ 淡路人形会館
問 淡路人形会館の屋根材としての淡路瓦の採用はあるか。
答 瓦組合と設計士が協議し、新製品開発で協議が整い、似かよった品で協議する。

特別債発行額、内訳及び使用目的は。
答 財政健全化計画と比較して下回っている。また、合併特別債は建設に係る分に62億円、地域振興基金17億1千万円で、利息で運用で市民まつり等に充てて行きたい。

■ 地方債

問 地方債の現状は。
また、20年度末の合併

■ 障害者への支援

問 障害者自立支援法

国民健康保険 特別会計決算

■ 税の滞納
問 国保税の滞納処分状況は。
答 差押、参加差押、交付要求があるが、預金の差押も含め、収納率の向上を図るとともに、どの処分が効果的か調査する。

介護保険 特別会計決算

■ 介護保険料の見直しは？
問 保険給付、6500万円の不用額。保険料の見直しは。
答 半年実績の利用の多い月で予算を組んでいる。保険料は3年ごとの見直しとなっているが、不用額で保険料の変更は無い。

後期高齢者医療 特別会計決算

■ 保険料の納付状況
問 保険料の納付状況は。また、短期証はどんな状況で発行し、発

問 施設入所の待機状況、施設整備は。また、保険料、介護判定基準も含め見直しは。
答 待機者は165名おり、その内、58人が

9月1日・3日・4日の3日間にかけて一般質問が行なわれました。
今号は質問項目のみの掲載とさせていただきます。
なお、本内容を「さんさんネット」で録画放送しています。ご覧ください。

放送日程

11月1日(日) … 8:00～、13:00～、23:00～ (3回に分割して放送)
11月2日(月)・3日(火)・4日(水) … 23:00～ (3日に分割して放送)

市政を問う！ 一般質問



質問議員 ※通告順	内 容
長 船 吉 博	南あわじ市誕生からの中田市長第一期より現在までの市政全般について
原 口 育 大	新庁舎建設等について 4年間の市政を振り返って
小 島 一	農業振興について オニオン道路の市内供用開始に伴う交通安全対策について
福 原 美千代	中学の部活について 津井を取りまく道路について
印 部 久 信	中田市政について 国民健康保険について
蛭 子 智 彦	松帆地域低地対策を進めるための市長の政治姿勢について 鳥獣害対策の課題について 慶野松原にぎわい対策について 中学校でのクラブ活動の現状と課題について
吉 田 良 子	くらしを支える新年度予算を
川 上 命	幼稚園、保育園、小学校、中学校についての今後の構想について 津井伊加利線について 陸の港の駐車場の件
楠 和 廣	庁舎等公共施設整備検討委員会答申書提言での新庁舎建設について 県道整備について 農業の活性化について
森 上 祐 治	危機管理について 格差社会の狭間で～『官製ワーキングプア』の問題について
出 田 裕 重	協働のまちづくりについて 津波対策について

■ 下水道早期接続者への奨励金
問 早期接続奨励金の交付は対象の何割であったのか。
答 1年以内180件、2年以内76件、対象が571件で44.8%。

■ 利子補給制度
問 利子補給制度の活用状況、リフォームとセットで補助しての加入促進は。
答 利子補給制度は水



▲量販店で下水道加入のパンフレットを配布



▲南あわじ市企業団地 (複列上幅多)

下水道事業 特別会計決算

入所の必要性が高く、特養で58床増やす計画。また、国は10月から旧の判定基準に戻す予定で、保険課としては、国に示されたとおり、運営をしていくしかない。

■ 採算性
問 メンテナンス料の節減の努力は。
答 小さい処理場の合併等できないか検討する。

問 21年度企業会計に移行したメリットは。
答 減価償却費の計上などにより、経営状況が透明化を増し、理解度を上げる状況をつくっている。

問 採算性は、接続率だけでは成り立たないの
で、一般会計からの補助金を施設整備や維持費に充てている。
問 接続率が100%になっても一般会計からの繰出はあるのか。
答 維持管理費、給与も含めると苦しい。また、使用料で賄うのが当然であるが、計画時に算定した費用が高騰した経緯がある。

水道事業会計決算

統合は、方向性が出て来た段階でお知らせする。

■ 下水道事業の3市統合

問 単年度赤字決算となっている。料金が高いのは。

また、淡路3市の事業統合のメリット、デメリットは。

答 赤字は使っていない施設を整理したことでの結果であり、安定した経営であった。料金は本土導水のためである。料金を下げる取り組みが必要である。

土地開発事業 特別会計決算

■ 企業団地の販売

問 企業団地へ酪農協の新工場進出がなくなつたが、その後、どんな取り組みをされているか。土地を分割してでも、早急に企業誘致を。
答 全体で2、3件交渉をしているので、契約に結びつけるよう、努力している。

会議録、ぜんぶ見られます

議会の会議録は、公民館緑・西淡・三原・南淡)と、図書館に備え付けてあります。なお、市ホームページでも過去の議会の会議録(委員会録を除く)を閲覧できます。





▲総務常任委員会



▲市役所中央庁舎（市善光寺）周辺に新庁舎建設の答申が出されている

総務常任委員会

■市の総合計画

平成18年12月策定の総合計画の数値目標は、毎年検証を行い、社会経済情勢の変化に対応するとともに、達成にむけて着実に取り組むことを期待する。

■新庁舎建設

本年2月、市長に対し庁舎等公共施設整備検討委員会から答申が提出された。今後、基本計画等の策定にあたっては、積極的な情報公開に務め、

■コミュニティバス

昨年5月に路線と時刻を大幅に見直し、さらに本年4月にも一部改正と、一部の路線でフリー乗降を導入した。

広く市民の意見を聞き、また議会と意見調整等を図りながら慎重に進められたい。

しかし、乗車人数が依然として少ない。今後、フリー乗降できる路線の拡張や予約乗降、利用者者の要望等について検討を行うなど、積極的な取り組みが望まれる。

議会運営委員会

■議会運営

毎月定期的に委員会を開催。本会議や委員会の日程調整、運営についての協議を行った。また、随時開催し、議会運営や活動のあり方等について問題を捉え、より適正で円滑な運営を図るための協議や意見調整を行なった。

■情報公開

本会議、各委員会を、インターネット配信や、庁舎等に設置のテレビで中継放送を実施。本会議録、委員会録は、各公民館、図書館に設置し閲覧可能としている。また、本会議録をホームページに掲載し、積極的な情報公開に努めている。

■議員協議会と会派代表者会議を設置

昨年9月の地方自治法の一部改正に伴い、議員協議会と会派代表者会議が会議規則に規定された。これを受け、議員協議会規程の制定、会派

■議会改革特別委員会を設置

議会の機能強化と、市民に開かれた議会運営のため、昨年12月定例議会で、議会改革に関する調査研究のため、議会改革特別委員会の設置を行なった。



▲議会運営委員会

■行財政計画

行政評価システムによる事務事業の見直しや、指定管理制度の導入など経費の効率化に努めている。なお一層推進し、財政健全化計画で目標としている平成23年度に収支バランスの均衡を達成できるよう取り組まれたい。

■消防・防災

消防団員が勤務の関係で災害時に現場に駆けつけにくい状況や団員数の確保などが課題となっている。初期消火は自主防災組織との連携を図るなど、地域防災力の向上を図られたい。

■国際交流

今年度は姉妹都市アメリカ・セライナ市からの派遣受入れの年であるが、世界的な経済不況の影響により受入れ中止となっている。中高生に国際感覚を養う貴重な機会となるため、今後、事業実施が可能となるように。

■職員数の適正化

定員適正化計画により職員数を削減していく中で、今まで以上に効率的・効果的な行財政運営が求められている。役職退任制及び職階制の見直しを図るとともに、積極的・意欲的に取り組む職員の育成を。

■離島振興

利用者の利便性を考慮した航路の運営に配慮するよう関係機関へ働きかけを行い、住民

■選挙

投票所数が、45か所から29か所に統合後、2月の市長選挙が実施され、7月の知事選挙からは設置基準を明確化した中で、1か所増やし30か所となった。今後、投票所の大規模な統合による各選挙への影響等について引き続き検証を。

■市有財産

財産台帳の整理が進

文教厚生常任委員会

■中学校のクラブ活動

少子化により各中学校の生徒数が減少する中で、従前のクラブ数の維持が困難な状況となっている。今後、生徒の希望や得意分野を生かすための選択肢が一つでも多くなるよう、拠点校方式の導入や、中学校の統合などの検討を進め問題の早期解決に向けて取り組まれない。

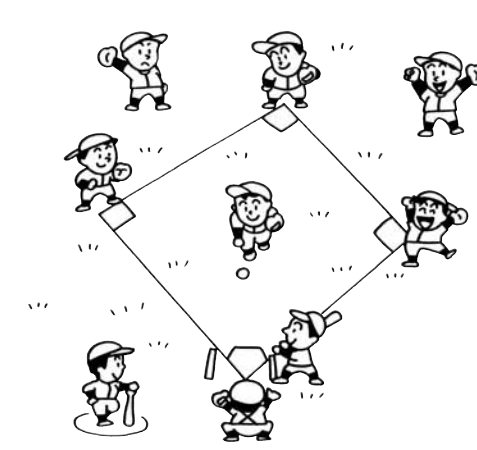
■歴史民俗資料館

賀集の資料館は常駐の管理者もなく、予約しなければ見学できない。また、西淡社会教育センターの資料室は、展示室の体をなしていない。保管方法等、両施設

■学習指導要領の改訂

小学校は23年度、中学校は24年度から本格実施される。スムーズに実施できるように、教材購入等の予算措置は十分な配慮を。

の統合まで踏み込んで検討されたい。



▲歴史民俗資料館（賀集八幡）

■人権施策

人権教育・啓発は、今までの取り組みの課題等を念頭に置きながら、手法等を見直し、より一層の推進を。

■税の徴収

収納率向上に向け、収税体制の工夫や税務課との連携による徴収に努められたい。

■税制の周知

国民健康保険と後期高齢者医療の保険料の特別徴収は、制度の周知徹底を。滞納者には、個々に制度の説明をし、また滞納に至った事情の聞き取り等を行い、適切な対応を図られたい。

■後期高齢者医療

高齢者が安心して適切な医療を受けられるよう、広域連合と連携を図り国への働きかけ等適切な措置を講じるよう務められたい。

■小児救急医療

在宅輪番制で島内の小児科医院が夜間の診察を行っているが、当番医師への負担が課題。平成25年の県立淡路病院改築後の対応も含め、将来的な体制の確立を図られたい。

■青少年の健全育成

地域で青少年を見守り、問題となる前にいち早く察知し、解決するために、関係機関へ橋渡しするような支援者の確保に努められたい。

■福祉対策

生活弱者に対して、福祉施策の中身は薄く、負担は重くということにならないよう十分な配慮を。

■介護保険

本年4月から要介護認定の適正化と効率化を図るために、調査項目が82項目から74項目となった。認定の正確性が求められる。認定調査員の指導等については十分な配慮を行なわれたい。外出支援サービスは、申請手続き方法の改善と利用対象範囲拡大について積極的に検討されたい。

■ゴミ処理

ゴミの分別や減量化に徹底的に取り組むこと。老朽化が著しい清掃センターは、淡路広域で早急に検討する場をつくり協議を。

産業建設常任委員会

■産業・観光振興

高速道路の料金低減化により観光需要が増大している。当市への観光客の入り込みを増やすには、魅力あるプランの展開、積極的なキャンペーンの実施等が求められている。

観光客の入り込みを増やすには、魅力あるプランの展開、積極的なキャンペーンの実施等が求められている。

本年4月、瓦産業等の販路拡大、観光事業の推進及び農商工の連携を図るために「マーケティング戦略室」を設置している。積極的な取り組みにより懸案事業の推進に努められたい。

■水産振興

漁業資源の枯渇と魚価の低迷により漁業者及び漁業協同組合の経営が非常に厳しい。並型魚礁や築いその設置など計画的に取り組まれたい。また、経営基盤の強化のため、漁協の合併の支援・指導を。

■耕作放棄田

農業従事者の減少、高齢化、耕作放棄田の増大など課題が多い。認定農家等の指導者育成、営農組織による安定的な農業経営の推進に取り組まれたい。特に、市内に約250haある耕作放棄田は、早急に農地バンクの設立を図るなど積極的な取り組みを。

■酪農

酪農業は、飼料価格高騰により厳しい経営状況となっている。効果的な支援策が求められる。

■公営住宅

古い公営住宅は応募が少なく、老朽化が進んでいる住宅の建て替え再編にあたっては、地域バランス等を考慮した中で取り組まれたい。

■水道事業の統合

平成22年4月の淡路島内3市統合の期限が迫ってきている。水道料金の問題など諸課題の解決に向けては慎重に取り組まれたい。

■農業委員会

合併時から実施している地区協議会は、今年度から4地区を2地区としたが、引き続き一体的な農業委員会組織の確立に努められたい。



▶産業建設常任委員会



▶耕作放棄田

特別委員会調査報告

特別委員会の調査項目

委員会名	調査項目
議会広報広聴特別委員会	議会広報紙編集発行及び広聴活動
総合防災対策調査特別委員会	東南海・南海地震対策、津波対策、低地対策、高潮対策の調査研究
議会改革特別委員会	市議会改革に関する調査研究

平成20年11月27日に設置されて以来、延べ10回、委員会を開催し、調査・検討を行なった。また管外調査も2回行なった。

この結果、下表（抜粋）のとおり検討結果をまとめ、9月18日の

議会改革特別委員会

本会議で報告した。

改選後も検討を

改選後の次期議会でのこの結果を踏まえ、議会基本条例の制定を見据え、引き続き踏み込んだ調査検討が望まれる。



▲和歌山県海南市で工事中の可動堰を視察（8月）

湊・阿那賀地区の高潮対策

に反映させ、連携を図りながら取り組まれない。

吹上浜の防潮

引き続き県へ積極的に要望するとともに、地元と十分協議を行い早急に対応を。

緊急を要する箇所は早急に検討を行い、護岸等の改修で対策を講じられたい。

議会改革特別委員会 検討結果（抜粋）

検討事項	検討結果	
視察等報告書について	先進地への視察後は委員会として視察報告書を提出する。	
執行部の重要施策 議会報告の制度化	先進事例を参考として引き続き検討していく。 (伊賀市議会・栗山町議会の議会基本条例等参考)	
議会役員 の選出方法について	議長選挙における立候補と所信表明については、下記の事項を議員協議会で協議、決定した上で実施する。 1、立候補するための推薦人の有無 2、所信表明の持ち時間、質疑の有無 3、住民への公開の有無	
出前講座、懇談会、 報告会について	出前講座、懇談会、報告会は、議会として実施要綱等を規定して実施する。	
公開のあり方	長 交 際 費	①議会のホームページで支出日、支払内容（個人情報部分は除く）及び支出額を公開することとし、毎月初めに前月の支出分を追加掲載する。 ②議会広報紙で年間の支出区分ごとの件数、支出額及び総支出額を掲載する。なお、詳細はホームページに掲載されている旨を記載する。
	政 務 調 査 費	①議会のホームページで、会派ごとの収支報告及び事業の成果について公開する。 ②議会広報紙で、会派名、収支決算額等を記載した政務調査費収支報告一覧表を掲載する。なお、詳細はホームページに掲載されている旨を記載する。
政策能力向上を 目指すための検討	議会基本条例に規定することを前提に、市民との意見交換会の実施や、議員研修会を年1回以上実施する方向で検討する。	
議員報酬について	特別職報酬等審議会に委ね、同審議会の意見を尊重する。	
議会要望の制度化 (要望の一本化)	執行部に対する要望については、会派ごとに政策が異なるため一本化できないが、議会全体として要望項目を絞った中で要望提出について引き続き検討する。	

議会広報広聴特別委員会

議会だよりの発行

議会情報を市民に正しく、分かりやすく伝えるため、本広報紙の編集では、お役所言葉や専門用語を一般的な言葉に言い換え、短く簡潔な文章で編集。読みやすいレイアウトを心がけた。

広聴への提言

管外視察を行った甲賀市・伊賀市議会の「議会報告会」や「出前講座」などの先進事例を議会改革特別委員会に報告し、本市議会での今後の取り組みについて要望した。

総合防災対策調査特別委員会

南海地震対策

福良・阿万・沼島地区では地震発生から5分〜60分後に5m級の津波が到達すると予想されている。避難路整備等、今後も取り組まされたい。

自主防災組織

自主防災組織の市内全域での早期設立を。設立後も効果的な活動のための講習会等の実施、資機材の整備に積極的に取り組まされたい。

要援護者リスト

早急に整備し、災害弱者の避難誘導等を自主防災組織が中心になって取り組まされたい。

福良港津波防災ステーション

福良港津波防災ステーションの建設県事業が進んでいるが、あわせて水門の集中管理等が迅速に行えるよう協議を重ねられたい。

三原川水系の河川整備

三原川水系河川整備計画は、本年度から入貫川排水機場の整備が始まる。河川整備は30年に及ぶ大規模な事業計画であるので優先順位等を工夫し、出来る限り早期の事業実施が望まれる。

低地対策

河川改修、ほ場整備に伴う排水路整備で、内水の集約が望まれる。多額の経費が必要となるので、国・県に協議を重ねるとともに、関係地域の意見を十分



▲建設が進む福良港津波防災ステーション(福良湾)

臨時議会を

開催します

任期満了に伴う市議会議員選挙（10月25日投開票）が行なわれませんでした。

市議会では、11月中旬に臨時議会を開き、議長選挙や新たな委員会構成を決めます。日程が確定後（11月11日以降）、市ホームページに掲載します。

傍聴やインターネットでの動画配信、各庁舎・公民館等でテレビ中継を行ないますので、ご覧ください。

議会だより

臨時号を

発行します

臨時議会の結果を速やかにお伝えするため、臨時号を12月上旬に発行します。通常どおり、新聞折込等で配布します。

議会事務局 ☎ 43-5005

編集後記

1年間私たちが担当しました。ありがとうございました。

議会広報広聴特別委員会委員一同



（前列）左から市川一馬副委員長、蛭子智彦委員長、武田昌起委員
（後列）左から出田裕重委員、印部久信委員、阿部計一委員

夢、知恵、元気が揃うことによって、社会が新しい時代へと動き始めます。

この時代、社会の混乱を越えて、新時代を指し示すのが「夢」です。これは、多くの人に希望を与える形で人々に求心力を働かせるものだと思います。

次に「知恵」とは、問題解決の筋道を教える力です。夢を単に絵に描いたモチに終わらせるのではなく、きちんとこの道筋を辿りさえすれば、そのモチを口にすることが出来るという明確でベストの戦術を示すものです。これは、多くの人に対して、自らがどんな役割を持ち、更に自分の知恵を生かすことが出来るかを示す枠組みを生み出すものです。

最後に「元気」とは、人の心が響き合うところに生まれる力です。心の底からの共感が生まれる時に、この爆発的なエネルギーが出てきます。これは、行動力を生みだしてきます。そして、果敢な行動力を引き起こす感動が次々に大きな運動の渦を生み出してゆくものだと思います。

これから夢、知恵、元気が揃うことによって、社会が新しい時代へと動き始めます。

（市川）